

課題共有型円卓会議「今だから語ろう「自治の理想と現実」」 第1回目報告

日 時：令和3年1月31日（日）14時～16時

参加者：約30名

冒頭、司会の土山委員長から、学術問題検討委員会発足の経過とともに、委員会は、日本学術会議推薦会員任命拒否問題の論点について、「拙速にならず、特定の立場に偏ることなく、結論ありきではなく」会員の意見を多く引き出し交換し、整理してまとめることを目的としていること、また、今回の課題共有型円卓会議の趣旨について説明がありました。

まず、スピーカーからの話題提供として、憲法学・人権論の視点から奥野恒久さん（龍谷大学）、行政法の視点から原島好良成さん（熊本大学）、ジャーナリストの視点から坪井ゆづるさん（朝日新聞論説委員）、行政学・地方自治論の視点から嶋田暁文さん（九州大学）、それぞれのスピーカーからお話をいただきました。

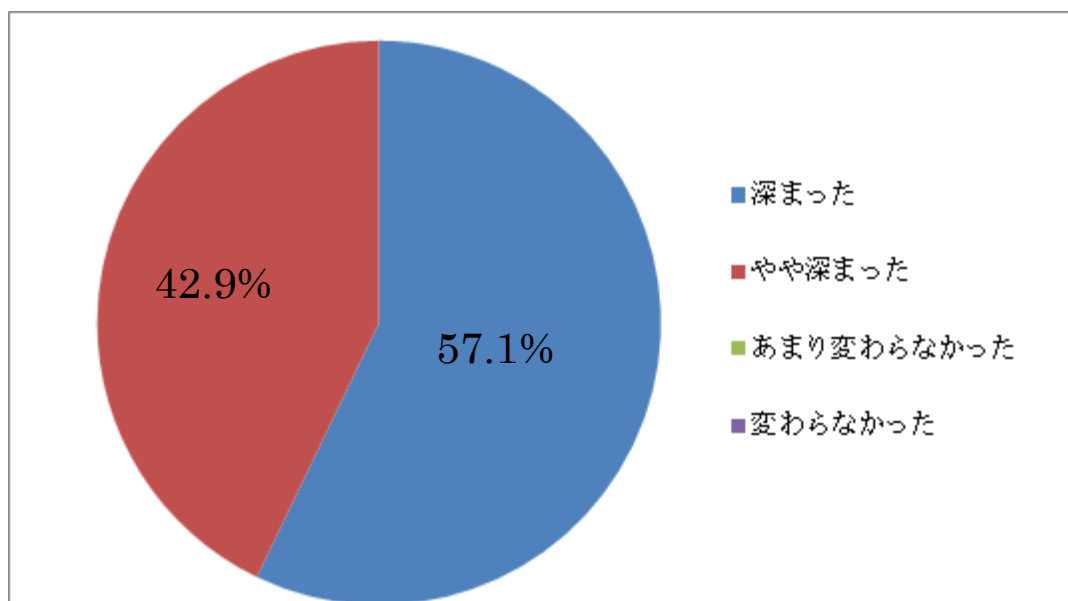
その後、ZOOMの「ブレイクアウトルーム」の機能を使い、参加者が3人一組になり意見交換を行いました。

円卓会議終了後、参加者へのアンケート（任意）の結果は以下のとおりです。

アンケート結果（抜粋）

Q1) 本日の「えんたく」に参加されて、テーマについて理解は深まりましたか？

(14件の回答)



Q 2) 本日の「えんたく」に参加されて、テーマにたいする共感（自分にかかわることとしての感覚、自分ゴト感）は高まりましたか？

(14 件の回答)

